

令和2年事業年度

# 財 務 諸 表

第 10 期

自 令和2年4月1日  
至 令和3年3月31日

学校法人 沖縄科学技術大学院大学学園

# 独立監査人の監査報告書

令和3年6月21日


学校法人沖縄科学技術大学院大学学園

理 事 会 御 中

## EY新日本有限責任監査法人

沖 縄 事 務 所

指定有限責任社員  
業務執行社員 公認会計士

耕田一英 

### 監査意見

当監査法人は、沖縄科学技術大学院大学学園法（以下、「学園法」という。）第12条第2項の規定に基づく監査報告を行うため、平成23年11月1日付け内閣府通知第525号に基づき、学校法人沖縄科学技術大学院大学学園の令和2年度（令和2年4月1日から令和3年3月31日まで）の財務諸表、すなわち、貸借対照表、損益計算書、キャッシュ・フロー計算書、利益の処分に関する書類、業務実施コスト計算書、重要な会計方針、その他の注記及び附属明細書について監査を行った。

当監査法人は、上記の財務諸表が、沖縄科学技術大学院大学学園の会計の基準（平成23年内閣府令第59号第6条）に準拠して、学校法人沖縄科学技術大学院大学学園の令和3年3月31日現在の財政状態並びに同日をもって終了する事業年度の運営状況、キャッシュ・フローの状況及び業務実施コストの状況を全ての重要な点において適正に表示しているものと認める。

### 監査意見の根拠

当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して監査を行った。監査の基準における当監査法人の責任は、「財務諸表の監査における監査人の責任」に記載されている。当監査法人は、我が国における職業倫理に関する規定に従って、学校法人から独立しており、また、監査人としてのその他の倫理上の責任を果たしている。

当監査法人は、意見表明の基礎となる十分かつ適切な監査証拠を入手したと判断している

### 財務諸表に対する理事者及び監事の責任

理事者の責任は、沖縄科学技術大学院大学学園の会計の基準（平成23年内閣府令第59号第6条）に準拠して財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない財務諸表を作成し適正に表示するために理事者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

財務諸表を作成するに当たり、理事者は、継続法人の前提に基づき財務諸表を作成することが適切であるかどうかを評価し、継続法人に関する事項を記載する必要があると判断した場合には、当該事項を記載する。

監事の責任は、学校法人の財務報告プロセスの整備及び運用における理事の業務執行の状況を監視することにある。

### 財務諸表の監査における監査人の責任

監査人の責任は、監査人が実施した監査に基づいて、全体としての財務諸表に不正又は誤謬による重要な虚偽表示がないかどうかについて合理的な保証を得て、監査報告書において独立の立場から財務諸表に対する意見を表明することにある。虚偽表示は、不正又は誤謬により発生する可能性があり、個別に又は集計すると、財務諸表の利用者の意思決定に影響を与えると合理的に見込まれる場合に、重要性があると判断される。

監査人は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に従って、監査の過程を通じて、職業的専門家としての判断を行い、職業的懐疑心を保持して以下を実施する。

- ・ 不正又は誤謬による重要な虚偽表示リスクを識別し、評価する。また、重要な虚偽表示リスクに対応した監査手続を立案し、実施する。監査手続の選択及び適用は監査人の判断による。さらに、意見表明の基礎となる十分かつ適切な監査証拠を入手する。
- ・ 財務諸表の監査の目的は、内部統制の有効性について意見表明するためのものではないが、監査人は、リスク評価の実施に際して、状況に応じた適切な監査手続を立案するために、監査に関連する内部統制を検討する。
- ・ 理事者が採用した会計方針及びその適用方法の適切性、並びに理事者によって行われた会計上の見積りの合理性及び関連する注記事項の妥当性を評価する。
- ・ 理事者が継続法人を前提として財務諸表を作成することが適切であるかどうか、また、入手した監査証拠に基づき、継続法人の前提に重要な疑義を生じさせるような事象又は状況に関して重要な不確実性が認められるかどうか結論付ける。継続法人の前提に関する注記がなされている場合は、監査報告書において財務諸表の注記事項に注意を喚起すること、又は重要な不確実性に関する財務諸表の注記事項が適切でない場合は、財務諸表に対して除外事項付意見を表明することが求められている。監査人の結論は、監査報告書日までに入手した監査証拠に基づいているが、将来の事象や状況により、学校法人は継続法人として存続できなくなる可能性がある。
- ・ 財務諸表の表示及び注記事項が、沖縄科学技術大学院大学学園の会計の基準（平成23年内閣府令第59号第6条）に準拠しているかどうかとともに、関連する注記事項を含めた財務諸表の表示、構成及び内容、並びに財務諸表が基礎となる取引や会計事象を適正に表示しているかどうかを評価する。

監査人は、監事に対して、計画した監査の範囲とその実施時期、監査の実施過程で識別した内部統制の重要な不備を含む監査上の重要な発見事項、及び監査の基準で求められているその他の事項について報告を行う。

#### 利害関係

学校法人と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以 上

# 目 次

貸借対照表	…	1
損益計算書	…	2
キャッシュ・フロー計算書	…	3
利益の処分に関する書類	…	4
業務実施コスト計算書	…	5
注記事項	…	6
附属明細書	…	8

- 1 固定資産の取得及び処分並びに減価償却費(「第40特定の償却資産の減価に係る会計処理」による損益外減価償却相当額も含む。)の明細並びに減損損失の明細
- 2 たな卸資産の明細
- 3 有価証券の明細
- 4 無償使用国有財産等の明細
- 5 PFIの明細
- 6 退職給付引当金の明細
- 7 拠出金及び拠出剰余金の明細
- 8 積立金の明細
- 9 業務費及び一般管理費の明細
- 10 運営費補助金等の明細
- 11-1 施設整備費補助金の明細
- 11-2 補助金等の明細
- 12 役員及び教職員の給与の明細
- 13 開示すべきセグメント情報
- 14 寄附金の明細
- 15 受託研究の明細
- 16 共同研究の明細
- 17 主な資産、負債、費用及び収益の明細
- 18 関連公益法人等に関する明細



# 貸 借 対 照 表

(令和3年3月31日)

(単位:円)

資産の部			
I 固定資産			
1 有形固定資産			
土地		1,659,667,000	
建物	55,717,427,473		
減価償却累計額	<u>-15,783,585,143</u>	39,933,842,330	
構築物	8,084,842,029		
減価償却累計額	<u>-2,438,493,841</u>	5,646,348,188	
機械及び装置	234,056,708		
減価償却累計額	<u>-206,573,544</u>	27,483,164	
工具、器具及び備品	27,183,522,486		
減価償却累計額	<u>-21,314,765,373</u>	5,868,757,113	
図書		8,088,892	
車両運搬具	27,426,192		
減価償却累計額	<u>-27,204,509</u>	221,683	
リース資産	1,456,333,716		
減価償却累計額	<u>-1,455,528,296</u>	805,420	
建設仮勘定		<u>6,030,106,212</u>	
有形固定資産合計		59,175,320,002	
2 無形固定資産			
特許権		97,261,155	
商標権		250,162	
ソフトウェア		149,474,357	
工業所有権仮勘定		107,221,001	
その他無形固定資産		<u>27,353,539</u>	
無形固定資産合計		381,560,214	
3 投資その他の資産			
投資有価証券		5,000	
敷金保証金		1,612,500	
長期前払費用		7,752,711	
リース投資資産		<u>5,213,896,902</u>	
投資その他の資産合計		5,223,267,113	
固定資産合計			64,780,147,329
II 流動資産			
現金及び預金		2,978,135,475	
未収入金		1,113,048,098	
たな卸資産		54,278,462	
前渡金		499,411	
前払費用		49,498,302	
リース投資資産		<u>153,563,627</u>	
流動資産合計			4,349,023,375
資産合計			<u>69,129,170,704</u>
負債の部			
I 固定負債			
資産見返補助金等		12,996,376,790	
資産見返寄附金		124,822,184	
資産見返物品受贈額		677,610	
退職給付引当金		156,263,100	
長期未払金		5,235,374,839	
長期リース債務		<u>115,060</u>	
固定負債合計			18,513,629,583
II 流動負債			
前受金		71,832,074	
預り補助金等			
預り運営費	487,254,231		
預り施設整備費	<u>5,697,283,690</u>	6,184,537,921	
預り寄附金		72,523,778	
預り科学研究費補助金等		132,407,376	
預り金		106,697,622	
未払金		2,560,998,716	
短期リース債務		690,360	
未払費用		<u>83,515,165</u>	
流動負債合計			9,213,203,012
負債合計			<u>27,726,832,595</u>
純資産の部			
I 拠出金			
拠出金		<u>24,317,681,264</u>	
拠出金合計			24,317,681,264
II 拠出剰余金			
拠出剰余金		31,698,004,436	
損益外減価償却累計額(-)		<u>-15,880,261,926</u>	
拠出剰余金合計			15,817,742,510
III 利益剰余金			
任意積立金			
別途積立金		80,532,854	
当期末処分利益		<u>1,186,381,481</u>	
(うち当期総利益)		( 460,418,771 )	
利益剰余金合計			1,266,914,335
純資産合計			<u>41,402,338,109</u>
負債純資産合計			<u>69,129,170,704</u>

# 損 益 計 算 書

(自 令和2年4月1日 至 令和3年3月31日)

(単位:円)

経常収益			
授業料収益		105,570,000	
運営費補助金等収益		14,788,539,920	
施設費収益		12,303,498	
受託研究等収入(国又は地方公共団体)		94,721,429	
受託研究等収入(国又は地方公共団体以外)		124,941,678	
共同研究収入		21,274,706	
寄附金収益		21,191,365	
補助金等収益		26,303,326	
宿舍料等収入		8,242,000	
土地建物賃借料収入		10,495,564	
資産見返補助金等戻入		3,294,473,903	
資産見返寄附金戻入		53,315,895	
財務収益			
受取利息	104,189,659	104,189,659	
雑益		509,090,179	
経常収益合計		509,090,179	19,174,653,122
経常費用			
業務費			
人件費	6,261,038,896		
経費			
研究資材費	1,418,440,645		
備品費及び消耗品費	722,124,109		
水道光熱費	836,138,047		
旅費交通費	86,657,476		
通信運搬費	70,221,259		
賃借料	449,101,495		
業務委託費	860,436,905		
修繕費	362,364,899		
保守管理費	1,666,830,939		
図書費	233,454,534		
減価償却費	3,342,422,644		
その他の業務経費	115,334,286	10,163,527,238	16,424,566,134
一般管理費			
人件費	1,459,538,746		
経費			
備品費及び消耗品費	52,711,313		
旅費交通費	39,788,278		
通信運搬費	47,485,542		
賃借料	18,043,705		
業務委託費	259,564,657		
役務費	49,975,768		
広告費	17,368,306		
減価償却費	36,987,038		
その他の管理経費	185,972,370	707,896,977	2,167,435,723
財務費用			
支払利息	111,605,411		
為替差損	7,262,475	118,867,886	
経常費用合計		118,867,886	18,710,869,743
経常利益			463,783,379
臨時利益			
資産見返補助金等戻入		564,545	
資産見返寄附金戻入		2,086,800	
臨時利益合計		2,086,800	2,651,345
臨時損失			
固定資産除却損		6,015,953	
臨時損失合計		6,015,953	6,015,953
当期純利益			460,418,771
当期総利益			460,418,771

## キャッシュ・フロー計算書

(自 令和2年4月1日 至 令和3年3月31日)

(単位:円)

I	業務活動によるキャッシュ・フロー	
	授業料収入	105,570,000
	運営費補助金等収入	17,260,989,674
	受託研究等収入	297,374,241
	寄附金収入	22,427,110
	補助金等収入	-42,426,564
	宿舍料等収入	8,242,000
	その他業務収入	514,985,312
	預り科学研究費補助金等の受払	21,658,131
	人件費支出	-7,685,353,845
	たな卸資産取得による支出	-1,374,090
	その他業務支出	-7,915,394,316
	国庫納付金の支払額	-88,161,390
	業務活動によるキャッシュ・フロー	2,498,536,263
II	投資活動によるキャッシュ・フロー	
	有形固定資産の取得による支出	-8,130,729,679
	無形固定資産の取得による支出	-13,666,693
	施設整備補助金等による収入	4,817,609,946
	その他	304,628
	小計	-3,326,481,798
	利息及び配当金の受取額	3,250
	投資活動によるキャッシュ・フロー	-3,326,478,548
III	財務活動によるキャッシュ・フロー	
	ファイナンス・リース債務の返済による支出	-690,360
	財務活動によるキャッシュ・フロー	-690,360
IV	資金に係る換算差額	-7,262,475
V	資金減少額	-835,895,120
VI	資金期首残高	3,814,030,595
VII	資金期末残高	2,978,135,475



## 利益の処分に関する書類

(令和3年3月31日)

(単位:円)

I 当期末処分利益	
当期総利益	460,418,771
前期繰越利益	725,962,710
II 次期繰越利益	<u><u>1,186,381,481</u></u>

## 業務実施コスト計算書

(自 令和2年4月1日 至 令和3年3月31日)

(単位:円)

### I 業務費用

#### (1) 損益計算書上の費用

業務費	16,424,566,134	
一般管理費	2,167,435,723	
財務費用	118,867,886	
臨時損失	6,015,953	18,716,885,696

#### (2) (控除) 自己収入等

授業料収益	△ 105,570,000	
受託研究収入	△ 219,663,107	
共同研究収入	△ 21,274,706	
寄附金収益	△ 21,191,365	
宿舍料等収入	△ 8,242,000	
土地建物賃借料収入	△ 10,495,564	
資産見返寄附金戻入	△ 53,315,895	
財務収益	△ 104,189,659	
雑益	△ 442,202,365	△ 986,144,661

業務費用合計	17,730,741,035
--------	----------------

### II 損益外減価償却相当額

2,170,520,091

### III 引当外退職給付増加見積額

654,000

### IV 機会費用

国又は地方公共団体の無償又は減額された使用料による 貸借取引の機会費用	157,277,063	
政府拠出等の機会費用	53,172,396	210,449,459

### V 業務実施コスト

20,112,364,585

## 注記事項

### I. 重要な会計方針

1. たな卸資産の評価基準及び評価方法  
総平均法に基づく低価法
2. 固定資産の減価償却方法
  - (1) 有形固定資産  
定額法を採用しております。  
なお、耐用年数については、法人税法に規定する方法と同一の基準によっております。  
また、特定の償却資産(沖縄科学技術大学院大学学園会計基準 第40)の減価償却相当額については、損益外減価償却累計額として、抛却剰余金から控除して表示しております。
  - (2) 無形固定資産  
定額法を採用しております。  
なお、法人内利用のソフトウェアについては、法人内における利用可能期間(5年)に基づいております。
3. 引当金の計上基準
  - (1) 退職給付引当金  
役員及び教職員の退職給付に備えるため、当該事業年度における期末要支給額を計上しております。
4. 業務実施コスト計算書における機会費用等の計上方法
  - (1) 国又は地方公共団体の財産の無償又は減額された使用料による貸借取引の機会費用の計算  
恩納村分屯基地・農地単価を基に計算しております。
  - (2) 政府抛却金等に係る機会費用の計算に使用した利率  
10年利付国債の令和3年3月末利回りを参考に0.12%で計算しております。
5. 外貨建資産及び負債の本邦通貨への換算基準  
外貨建金銭債権債務は、期末日の直物為替相場により円貨に換算し、換算差額は損益として処理しております。
6. リース取引の処理方法  
ファイナンス・リース取引については通常の売買取引に係る方法に準じた会計処理によっております。  
ただし、ファイナンス・リース取引のうちリース料総額が300万円未満の所有権移転外ファイナンス・リース取引については、通常の賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理によっております。
7. 収益及び費用の計上基準
  - (1) ファイナンス・リース取引(貸主側)に係る収益の計上基準  
売上高を計上せずに利息相当額を各期へ配分する方法によっております。
8. 消費税等の会計処理  
消費税の会計処理は、税込方式によっております。

### II. 追加情報

#### 1. ビレッジゾーン宿舎の取引概要及び会計処理

当学園は、平成23年9月30日付けで、OKINAWA SCIENTISTS VILLAGE株式会社(以下、事業者)と宿舎整備事業に関する契約を締結致しました。事業者は、当該契約に基づき、当学園の保有する敷地内に教職員及び学生のための宿舎を建設し、完工後当学園に宿舎を譲渡いたします。宿舎の建設は、フェーズ1(第1期～第3-2期)に渡り、平成27年度においては第3-2期分が完成し、当学園に引き渡しが行われております。フェーズ2として当学園は、令和元年6月11日付けで、OKINAWA SCIENTISTS VILLAGE II株式会社(以下、事業者)と宿舎整備事業に関する契約を締結し、令和2年度にヒルサイド及びサウスヒルA・B・Cの宿舎の完成及び引渡が行われております。当学園は、宿舎の完成に際し、事業者より、長期割賦購入で譲り受けると同時に、事業者と定期建物賃貸借契約を締結し宿舎を賃貸しております。宿舎の賃貸に係るリース料と宿舎の譲受に係る長期割賦購入額は同額となり、且つ支払スケジュール及び利息を含む各年度の支払額も同額で設定されているため、各年度の支払額は相殺されお互いの支払は発生しません。そして、定期建物賃貸借契約において、事業者は原則として中途解約が出来ない旨、及びリース期間満了後は宿舎を当学園に返還する旨を定めており、当学園は、事業者への賃貸取引について、所有権移転外ファイナンスリース(貸主側)による会計処理を実施しております。尚、所有権移転外ファイナンスリース(貸主側)による会計処理の実施に際しては、売上高を計上せずに利息相当額を各期へ配分する方法によっており、譲り受けた宿舎をリース投資資産に計上しております。

### III.貸借対照表関係

#### 1. 預り補助金等の内訳

##### (1) 預り運営費

国庫返納額	53,990,408 円
学園取得の建設仮勘定見返運営費補助金等残高	326,050,922 円
学園取得の工業所有権仮勘定見返運営費補助金等残高	107,212,901 円
期末残高	487,254,231 円

##### (2) 預り施設整備費

学園取得の建設仮勘定見返施設費残高	5,697,283,690 円
期末残高	5,697,283,690 円

### IV.キャッシュ・フロー計算書関係

#### (1) 資金の期末残高の貸借対照表科目別の内訳

現金及び預金	2,978,135,475 円
資金期末残高	2,978,135,475 円

#### (2) 重要な非資金取引の内容

当期新たに計上したファイナンス・リース(借手側)に係るリース資産の額	0 円
当期新たに計上したファイナンス・リース(借手側)に係るリース債務の額	0 円

### V.業務実施コスト計算書関係

引当外退職給付増加見積額には、国等からの出向職員に係るものが、654,000円含まれております。

### VI.ファイナンス・リース取引に関する注記

#### 1. 借手側

##### (1) リース資産の内容

業務車両(OISTバス)

##### (2) リース資産の減価償却の方法

<所有権移転ファイナンス・リース取引に係るリース資産>

自己所有の固定資産に適用する減価償却方法と同一の方法を採用しております。

<所有権移転外ファイナンス・リース取引に係るリース資産>

リース期間を耐用年数とし、残存価額を零とする定額法によっております。

#### 2. 貸手側

##### (1) リース投資資産の内訳

###### ①投資その他の資産

リース料債権部分	6,646,662,584 円
受取利息相当額	△ 1,432,765,682 円
リース投資資産	5,213,896,902 円

###### ②流動資産

リース料債権部分	260,240,398 円
受取利息相当額	△ 106,676,771 円
リース投資資産	153,563,627 円

##### (2) リース投資資産に係るリース料債権部分の決算日後の回収予定額

###### ①投資その他の資産

(単位:円)

	1年以内	1年超 2年以内	2年超 3年以内	3年超 4年以内	4年超 5年以内	5年超
リース料債権部分	-	260,452,079	260,668,682	260,890,329	261,117,145	5,603,534,349

###### ②流動資産

(単位:円)

	1年以内	1年超 2年以内	2年超 3年以内	3年超 4年以内	4年超 5年以内	5年超
リース料債権部分	260,240,398	-	-	-	-	-

### VII.重要な後発事象

該当事項はありません。

# 附属明細書

## 1. 固定資産の取得及び処分並びに減価償却費（「第40特定の償却資産の減価に係る会計処理」による損益外減価償却相当額も含む。）の明細並びに減損損失の明細

(単位:千円)

資産の種類	期首残高	当期増加額	当期減少額	期末残高	減価償却累計額		減損損失累計額		差引 当期末残高	摘要
					当期償却額	当期償却額	当期損益内	当期損益外		
有形固定資産 (償却費損益内)	建物	6,793,896	2,392,123	-	9,186,020	2,276,831	457,962	-	-	6,909,188
	構築物	399,350	40,154	-	439,505	215,472	18,099	-	-	224,032
	機械装置	190,975	-	-	190,975	179,393	7,413	-	-	11,582
	工具器具備品	25,634,424	2,183,924	850,841	26,967,506	21,191,974	2,675,008	-	-	5,775,532
	図書	7,275	813	-	8,088	-	-	-	-	8,088
	船舶	2,004	-	2,004	-	-	8	-	-	-
	車両運搬具	27,426	-	-	27,426	27,204	1,624	-	-	221
	リース資産	1,718,452	-	262,118	1,456,333	1,455,528	690	-	-	805
計	34,773,806	4,617,015	1,114,964	38,275,857	25,346,404	3,160,808	-	-	12,929,452	
有形固定資産 (償却費損益外)	建物	33,942,399	12,589,007	-	46,531,407	13,506,753	1,884,379	-	-	33,024,653
	構築物	6,843,117	802,218	-	7,645,336	2,223,020	264,096	-	-	5,422,315
	機械装置	43,080	-	-	43,080	27,180	2,886	-	-	15,900
	工具器具備品	144,440	107,100	35,525	216,015	122,791	19,103	-	-	93,224
計	40,973,039	13,498,326	35,525	54,435,840	15,879,746	2,170,465	-	-	38,556,094	
非償却資産	土地	1,659,667	-	-	1,659,667	-	-	-	-	1,659,667
	建設仮勘定	16,408,890	5,607,648	15,986,432	6,030,106	-	-	-	-	6,030,106
計	18,068,557	5,607,648	15,986,432	7,689,773	-	-	-	-	7,689,773	
有形固定資産合計	土地	1,659,667	-	-	1,659,667	-	-	-	-	1,659,667
	建物	40,736,296	14,981,130	-	55,717,427	15,783,585	2,342,342	-	-	39,933,842
	構築物	7,242,468	842,373	-	8,084,842	2,438,493	282,196	-	-	5,646,348
	機械装置	234,056	-	-	234,056	206,573	10,299	-	-	27,483
	工具器具備品	25,778,865	2,291,024	886,367	27,183,522	21,314,765	2,694,111	-	-	5,868,757
	図書	7,275	813	-	8,088	-	-	-	-	8,088
	船舶	2,004	-	2,004	-	-	8	-	-	-
	車両運搬具	27,426	-	-	27,426	27,204	1,624	-	-	221
リース資産	1,718,452	-	262,118	1,456,333	1,455,528	690	-	-	805	
建設仮勘定	16,408,890	5,607,648	15,986,432	6,030,106	-	-	-	-	6,030,106	
計	93,815,403	23,722,990	17,136,922	100,401,470	41,226,150	5,331,273	-	-	59,175,320	
無形固定資産 (償却費損益内)	特許権	105,770	37,166	696	142,240	44,979	15,171	-	-	97,261
	商標権	1,217	-	-	1,217	967	121	-	-	250
	ソフトウェア	1,129,075	12,032	3,078	1,138,029	988,554	199,228	-	-	149,474
	その他無形固定資産	51,785	12,249	-	64,034	36,876	4,079	-	-	27,158
計	1,287,848	61,448	3,775	1,345,521	1,071,377	218,601	-	-	274,143	
無形固定資産 (償却費損益外)	その他無形固定資産	711	-	-	711	515	54	-	-	195
非償却資産	工業所有権仮勘定	151,982	53,962	98,723	107,221	-	-	-	-	107,221
無形固定資産合計	特許権	105,770	37,166	696	142,240	44,979	15,171	-	-	97,261
	商標権	1,217	-	-	1,217	967	121	-	-	250
	ソフトウェア	1,129,075	12,032	3,078	1,138,029	988,554	199,228	-	-	149,474
	工業所有権仮勘定	151,982	53,962	98,723	107,221	-	-	-	-	107,221
	その他無形固定資産	52,496	12,249	-	64,745	37,392	4,134	-	-	27,353
計	1,440,542	115,410	102,499	1,453,453	1,071,893	218,655	-	-	381,560	
投資その他の資産	投資有価証券	5	-	-	5	-	-	-	-	5
	敷金保証金	1,612	-	-	1,612	-	-	-	-	1,612
	長期前払費用	806	7,238	291	7,752	-	-	-	-	7,752
	リース投資資産	4,073,287	1,307,900	167,290	5,213,896	-	-	-	-	5,213,896
計	4,075,711	1,315,138	167,582	5,223,267	-	-	-	-	5,223,267	

- 注) 1. 建物の当期増加額の主な内容 Lab4関連 13,236,511千円、第2エネルギーセンター 1,121,967千円、臨海実験施設 取水管工事 545,391千円
2. 構築物の当期増加額の主な内容 Lab4関連 529,499千円、ビレッジ関連 288,903千円、第2エネルギーセンター 20,152千円
3. 工具器具備品の当期増加額の主な内容 SPECS Surface Nano Analysis Gmbh Spin filter Unit 130,900千円、Long-read single molecule real time DNA sequencer 82,137千円、ZEISS Confocal Laser Scanning Microscope LSM900 73,546千円
4. 建設仮勘定の当期増加額の主な内容 Lab5関連 3,233,617千円、第2エネルギーセンター 897,698千円、ビレッジ関連 634,170千円

## 2. たな卸資産の明細

(単位:千円)

種類	期首残高	当期増加額		当期減少額		期末残高	摘要
		当期購入・ 製造・振替	その他	払出・振替	その他		
研究資材	53,605	-	-	5,823	-	47,782	
その他	6,707	1,374	-	1,585	-	6,497	
計	60,312	1,374	-	7,408	-	54,278	

### 3. 有価証券の明細

投資その他の資産として計上された有価証券

(単位:千円)

		銘柄等	取得価額	券面総額	時価又は 実質価額	貸借対照表 計上額	損益に 含まれた 評価差額	その他 有価証券 評価差額	摘要
その他有価証券	時価のあるもの		-	-	-	-	-	-	
	時価のないもの	沖縄プロテイントモグラフィ 株式会社	-	-	-	5	-	-	新株予約権5,000株無償割当
合計			-	-	-	5	-	-	

#### 4. 無償使用国有財産等の明細

区分	種別	所在地	面積(m <sup>2</sup> )	構造	機会費用の 金額(千円)	摘要
土地	メインキャンパス	沖縄県国頭郡恩納村字谷茶1919番地	631,410.60	-	155,428	
土地	瀬良垣臨海研究施設	沖縄県国頭郡恩納村字瀬良垣瀬良垣原656番地	7,511.50	-	1,849	
	合計		638,922.10	-	157,277	



## 5. PFIの明細

事業名	事業概要	施設所有形態	契約先	契約期間	摘要
沖縄科学技術大学院大学 宿舎整備事業	宿舎整備(建設)・維持 管理及び運営	BTO	OKINAWA SCIENTISTS VILLAGE 株式会社	平成23年9月30日 ～ 令和27年3月31日	第1期:平成24年8月～平成25年1月の間に順次引渡 第2期:平成25年6月引渡 第3-1期:平成26年8月引渡 第3-2期:平成27年8月及び10月引渡
沖縄科学技術大学院大学 宿舎第2期整備運営事業	宿舎整備(建設)・維持 管理及び運営	BTO	OKINAWA SCIENTISTS VILLAGE II 株式会社	令和元年6月11日 ～ 令和42年3月31日	ヒルサイド: 令和2年7月引渡 サウスヒルA: 令和2年7月引渡 サウスヒルB: 令和2年9月引渡 サウスヒルC: 令和2年9月引渡

## 6. 退職給付引当金の明細

(単位:千円)

区分	期首残高	当期増加額	当期減少額	期末残高	摘要
退職給付債務合計額	139,665	20,756	4,159	156,263	
退職一時金に係る債務	139,665	20,756	4,159	156,263	
未認識過去勤務債務	-	-	-	-	
未認識数理計算上の差異	-	-	-	-	
年金資産	-	-	-	-	
退職給付引当金	139,665	20,756	4,159	156,263	

## 7. 拠出金及び拠出剰余金の明細

(単位:千円)

区分		期首残高	当期増加額	当期減少額	期末残高	摘要
拠出金	政府拠出金	24,317,681	-	-	24,317,681	
	計	24,317,681	-	-	24,317,681	
拠出剰余金	拠出剰余金					
	施設費	18,235,203	13,498,326	35,525	31,698,004	
	計	18,235,203	13,498,326	35,525	31,698,004	
	損益外減価償却累計額	13,745,267	2,170,520	35,525	15,880,261	
	差引計	4,489,936	11,327,806	-	15,817,742	

注)1. 施設費の当期増加額は、Lab4 11,540,743千円等によるものであります。

## 8. 積立金の明細

(単位:千円)

区分	期首残高	当期増加額	当期減少額	期末残高	摘要
別途積立金	58,867	-	-	58,867	前法人において独立行政法人会計基準上貸借対照表に計上しない扱いとなっていた退職給付引当金について、学園第1期の貸借対照表期首に要積立額を負債として計上し、当該引当額を学園第1期の学園補助金で措置することにより、要積立額分を収益化したことによるもの。
別途積立金	21,665	-	-	21,665	前法人において独立行政法人会計基準上貸借対照表に計上しない扱いとなっていた賞与引当金について、学園第1期の貸借対照表期首に要積立額を負債として計上し、当該引当額を学園第1期の学園補助金で措置することにより、要積立額分を収益化したことによるもの。
計	80,532	-	-	80,532	

## 9. 業務費及び一般管理費の明細

(単位:千円)

科目	金額	摘要
業務費		
基本給	5,203,900	
諸手当	301,283	
通勤手当	56,308	
超過勤務手当	30,248	
その他給与	46,492	
退職給付費用	7,438	
法定福利費	615,367	
研究資材費	1,418,440	
備品費	328,062	
消耗品費	394,061	
水道光熱費	836,138	
国内旅費	18,870	
外国旅費	15,041	
国内招聘旅費	19,780	
外国招聘旅費	6,347	
国内その他旅費	20,415	
外国その他旅費	6,201	
通信運搬費	70,221	
支払リース料	67,497	
土地建物賃借料	336,741	
その他賃借料	44,862	
福利厚生費	15,642	
行事費	200	
支払手数料	11,337	
諸会費	11,482	
会議費	365	
研修費	18,595	
諸謝金	20,591	
業務委託費	860,436	
修繕費	362,364	
保守管理費	1,666,830	
損害保険料	7,830	
広告費	8,710	
建物減価償却費	453,717	
構築物減価償却費	18,099	
機械装置減価償却費	7,413	
工具器具備品減価償却費	2,660,760	
車両運搬具減価償却費	1,624	
船舶減価償却費	8	
無形固定資産減価償却費	200,108	
リース資産減価償却費	690	
図書費	233,454	
租税公課	2,145	
輸入消費税	7,588	
その他の経費	10,843	
計	16,424,566	
一般管理費		
役員報酬	119,427	
役員通勤手当	48	
基本給	1,078,728	
諸手当	57,204	
通勤手当	17,515	
超過勤務手当	18,945	
その他給与	10,592	
退職給付費用	13,318	
法定福利費	143,758	
研究資材費	16,242	
備品費	7,922	
消耗品費	44,789	
水道光熱費	15,584	
国内旅費	13,068	
外国旅費	1,646	
国内招聘旅費	3,493	
外国招聘旅費	988	
国内その他旅費	11,666	
外国その他旅費	8,924	
通信運搬費	47,485	
支払リース料	3,036	
土地建物賃借料	12,914	
その他賃借料	2,092	
福利厚生費	240	
行事費	660	
支払手数料	11,569	
諸会費	5,439	
会議費	1,060	
研修費	5,605	
報酬	34,717	
諸謝金	15,258	
業務委託費	259,564	
修繕費	2,781	
保守管理費	6,470	
損害保険料	25,826	
広告費	17,368	
特許経費	61,912	
建物減価償却費	4,245	
工具器具備品減価償却費	14,248	
無形固定資産減価償却費	18,492	
図書費	4,270	
租税公課	26,980	
輸入消費税	106	
その他の経費	1,221	
計	2,167,435	

## 10. 運営費補助金等の明細

(単位:千円)

区分	当期交付額	当期振替額				摘要
		建設仮勘定見返補助金等	工業所有権仮勘定見返補助金等	資産見返補助金等	収益計上	
沖縄科学技術大学院大学 学園補助金	17,141,741	257,485	31,737	2,152,420	14,700,097	
合計	17,141,741	257,485	31,737	2,152,420	14,700,097	

注) 損益計算書の運営費補助金等収益には過年度取得仮勘定からその他の経費へ振替えた88,442千円が含まれております。

## 11-1. 施設整備費補助金の明細

(単位:千円)

区分	当期交付額	左の会計処理内訳				摘要
		建設仮勘定 見返施設費	拠出剰余金	預り施設費	その他	
平成30年4月25日付 府沖振第137号 第5研究棟インフラ整備(土木設計・造成)	114,444	114,444	-	-	-	
平成31年2月26日付 府沖振第37号 第5研究棟整備	3,555,397	2,733,587	821,483	-	325	
平成31年2月26日付 府沖振第38号 臨海実験施設・取水機能増強整備	216,971	-	216,971	-	-	
平成31年4月18日付 府沖振第158号 PFI基幹整備	499,024	498,689	335	-	-	
令和2年4月1日付 府沖振第124号 基幹環境整備	275,059	41,740	230,326	-	2,992	
令和3年2月17日付 府沖振第34号 第5研究棟附帯設備整備	566,680	566,680	-	-	-	
計	5,227,577	3,955,142	1,269,116	-	3,318	

## 11-2. 補助金等の明細

(単位:千円)

区分	当期交付額	左の会計処理内訳				摘要
		資産見返 補助金等	長期預り 補助金等	収益計上	その他	
沖縄科学技術大学院大学 企業化促進事業補助金	10,169	-	-	10,169	-	
大学改革推進等補助金 大学保有検査機器活用促進事業	2,000	1,627	-	372	-	
国立研究開発法人 日本医療研究開発機構 医療研究開発推進事業費補助金	17,320	1,558	-	15,761	-	
計	29,489	3,186	-	26,303	-	

## 12. 役員及び教職員の給与の明細

(単位:千円)

区 分	報酬又は給与		退職給付	
	支給額	支給人員(人)	支給額	支給人員(人)
役 員	( 3,827 )	( 1 )	( - )	( - )
	115,648	3	-	-
教 職 員	( 70,173 )	( 35 )	( - )	( - )
	6,751,045	846	4,492	1
合 計	( 74,000 )	( 36 )	( - )	( - )
	6,866,693	849	4,492	1

注) 1. 役員(含む非常勤役員)報酬及び退職手当の支給基準の概要

沖縄科学技術大学院大学学園「基本方針・ルール・手続き」第34章 給与・報酬 及び 第35章 ベネフィット 等に基づき支給しております。

2. 教職員給与及び退職手当の支給基準の概要

沖縄科学技術大学院大学学園「基本方針・ルール・手続き」第34章 給与・報酬 及び 第35章 ベネフィット 等に基づき支給しております。

3. 報酬又は給与における支給人員数は、年間平均支給人員を記載しております。

4. 損益計算書の人件費の中には、上記給与の他に法定福利費759,126千円が含まれております。

5. ( )は、非常勤の役職員に対するもので、外数であります。

6. 上記の支給額には、賞与引当金及び退職給付引当金に係る繰入額は含まれておりません。



### 13. 開示すべきセグメント情報

(単位:千円)

区分	研究ユニット	研究サービス	教育関連	計	全学園	合計
業務収益						
授業料収益	-	-	105,570	105,570	-	105,570
運営費補助金等収益	6,319,267	5,365,914	1,140,776	12,825,958	1,962,581	14,788,539
施設費収益	-	-	-	-	12,303	12,303
受託研究費等収入	139,083	101,854	-	240,937	-	240,937
寄附金収益	10,037	6,500	50	16,588	4,602	21,191
補助金等収益	-	16,133	10,169	26,303	-	26,303
資産見返補助金等戻入	1,207,894	2,047,226	6,235	3,261,357	33,116	3,294,473
資産見返寄附金戻入	51,488	1,747	-	53,236	79	53,315
資産見返物品受贈額戻入	-	-	-	-	-	-
その他収入	22,977	38,337	1,510	62,825	465,001	527,827
財務収益	-	104,186	-	104,186	3	104,189
小計	7,750,749	7,681,901	1,264,312	16,696,963	2,477,689	19,174,653
業務費用	7,726,709	7,727,385	1,147,363	16,601,459	2,109,410	18,710,869
業務損益	24,039	△45,485	116,948	95,504	368,278	463,783
資産	3,013,419	62,421,001	25,467	65,459,889	3,669,281	69,129,170

(セグメント情報の注記事項)

(1) セグメントの区分方法及び各業務の内容

各業務の内容

研究ユニット	神経科学、分子科学、数学・計算科学の研究開発の推進、研究者養成活動等
研究サービス	研究ユニットの支援業務、研究成果の普及等
教育関連	学生の受入・教育に係る業務等

(2) 業務費用のうち、全学園の項目に含めた配賦不能費用は、主に管理部門に係る下記費用であります。

人件費	1,456,329	千円
業務委託費	259,553	千円
その他経費	129,863	千円

(3) 資産のうち、全学園の項目に含めた資産は、主に下記の通りであります。

現金及び預金	2,978,135	千円
工業所有権仮勘定	107,221	千円

(4) 損益外減価償却相当額及び引当外退職給付増加見積額のセグメント別金額は下記の通りであります。

(単位:千円)

	研究ユニット	研究サービス	教育関連	計	全学園	合計
損益外減価償却相当額	-	2,170,520	-	2,170,520	-	2,170,520
引当外退職給付増加見積額	-	-	-	-	654	654

#### 14. 寄附金の明細

区分	当期受入(千円)	件数(件)	摘要
研究ユニット	24,372	104	現物寄附 83件:20,341千円
研究サービス	4,302	9	
教育関連	531	4	
全学園	20,301	6	
合計	49,507	123	

## 15. 受託研究の明細

(単位:千円)

区分	期首残高	当期受入額	受託研究等収益	期末残高
研究ユニット	14,074	172,191	136,641	49,624
研究サービス	-	83,021	83,021	-
全学園	-	-	-	-
合計	14,074	255,213	219,663	49,624

## 16. 共同研究の明細

(単位:千円)

区分	期首残高	当期受入額	受託研究等収益	期末残高
研究ユニット	19,708	23,674	21,274	22,107
合計	19,708	23,674	21,274	22,107

## 17. 主な資産、負債、費用及び収益の明細

### (1) 現金及び預金の明細

(単位:千円)

内訳	金額
現金	242
普通預金	2,977,892
現金及び預金計	2,978,135

### (2) 科学研究費補助金等の明細

(単位:千円)

種目	当期受入額	件数	摘要
基盤研究(S)	( 10,357 ) 3,780	( 2 ) 2	
基盤研究(A)	( 5,882 ) 300	( 3 ) 2	
基盤研究(B)	( 16,348 ) 4,926	( 14 ) 13	
基盤研究(C)	( 40,150 ) 12,045	( 54 ) 54	
挑戦的萌芽研究	( 4,050 ) 1,215	( 5 ) 5	
若手研究(A)	( 3,800 ) 1,140	( 1 ) 1	
若手研究	( 43,378 ) 13,013	( 37 ) 37	
特別研究員奨励費	( 25,263 ) 1,782	( 29 ) 4	
特別推進研究	( 12,750 ) 3,825	( 1 ) 1	
独立基盤形成支援	( 1,500 ) 450	( 1 ) 1	
国際共同研究加速基金 (帰国発展)	( 9,100 ) 2,730	( 1 ) 1	
国際共同研究加速基金	( 450 ) 135	( 1 ) 1	
研究活動スタート支援	( 5,500 ) 1,650	( 5 ) 5	
新学術領域研究(研究領域提案型)	( 47,726 ) 15,334	( 10 ) 11	
学術変革領域研究	( 3,040 ) 912	( 2 ) 2	
HFSP研究グラント	( 16,476 ) 1,095	( 2 ) 1	
内藤記念女性研究者研究助成金	( 4,071 ) -	( 2 ) -	
大学環境安全協議会プロジェクト	( 100 ) -	( 1 ) -	
住友財団基礎科学研究助成金	( 3,400 ) -	( 2 ) -	
宇流麻学術研究助成金	( 150 ) -	( 1 ) -	
厚生労働科学研究費補助金	( 4,306 ) 1,339	( 1 ) 1	
武田科学振興財団ライフサイエンス研究奨励金	( 997 ) -	( 1 ) -	
アストロバイオロジーセンタープロジェクト	( 1,400 ) -	( 1 ) -	
合計	( 260,199 ) 65,672	( 177 ) 142	

注) 1. 当期受入額は、科学研究費補助金等の間接経費相当額を記載しております。また( )は、直接経費相当額で外数にて記載しております。

注) 2. 科学研究費補助金等の研究課題

基盤研究(S)	- マイクロ流体アプローチによる1細胞トランスクリプトーム解析とその応用展開 - 受容体の超過渡的複合体によるシグナル変換とアクチンによる制御:1分子法による解明
基盤研究(A)	- 意識変容の現象学——哲学・数学・神経科学・ロボティクスによる学際的アプローチ - 液体ヘリウム表面を利用した単一電子操作とその量子情報処理への応用 - 系統的破壊を通じた巨大有糸分裂装置・スピンドルの分子モデル構築
基盤研究(B)	- 海洋環境下のサンゴー褐虫藻共生系のゲノム基盤の解明 - 細胞膜損傷を引き金とする細胞老化の分子基盤と生体内における意義の解明 - 実験と計算を融合した核酸酵素の進化学 - 新奇ミツバチ寄生虫と疾患の起源、広がりおよび進化 - 超対称ランダム行列理論とトポロジー不変量の研究 - 超伝導量子テクノロジーを用いた超高感度スピン共鳴 - 電荷蓄積機構を用いた高効率有機蓄光システムの構築 - 粘弾性流体に特有な渦の数理解析 - 脳の特徴に基づいたテラーメイド・ブレイン・マシン・インターフェイス - 白化に強いコビエダハマサンゴ群落は頑健か? 脆弱か?—生物学と地質学からの検証— - 皮質における光景表現の形成 --- 面・物体・光景をつなぐ階層的中間表現
基盤研究(C)	- Axonal local translation and its implications in the pathogenesis of amyotrophic lateral sclerosis - Development of fast-forming 3D cultures of human neurons for modeling Alzheimers disease amyloid and Tau pathology - Imaging ultrafast photocarrier trapping in perovskite photovoltaic materials - LHC結果によるゲージ化U(1)拡張標準モデルと観測的宇宙論 - Novel label-free tool for infections diagnosis based on Nano-Electro Optical Tweezers - The Effect of Active Zone Protein Dynamics on Synaptic Vesicle Release Probability - The Mechanism of Endoplasmic Reticulum Proteostasis and Proteotoxicity in Retinal Degeneration - Understanding How The Environment Shapes Mutualism - アコヤガイの貝殻白色化原因遺伝子の同定とゲノム編集技術の開発 - クライオ電子顕微鏡によるアクセサリーヒリンを含む歯周病原細菌線毛の全貌解明 - グラフェン支持膜を用いた真空下での電子顕微鏡試料作製法に関する基盤技術の開発 - サンゴ共生高鞭毛藻の代謝産物利用の技術開発に基づいた共生機構の解明 - シナプス素量成立時間の生理学的意義の解明 - セルロースのオンデマンド人工合成に向けた結晶化過程の解明 - テルル化カドミウム(CdTe)の電子線ホログラフィー研究 - トリプレット微小管形成機構の解明 - ペプチド作動性神経系に共通する分子シグネチャーに基づく祖先的神経細胞の再構築 - 意識の構造についての神経現象学的研究 - 横断的クロスリンクプロテオミクスによるシナプスタンパク複合体の進化的起源の解明 - 科学を活用した芭蕉布生産改善 - 光ナノファイバデータバスを用いたリドベルグ原子の量子ネットワーク - 細胞性粘菌多細胞体の再生過程における位置情報再構成機構の解析 - 時間界面を用いたテラヘルツ波の周波数変換 - 時間的不確実な将来報酬に柔軟に適應する神経機構の解明 - 習慣を中核にすえた新たな心の哲学と心の科学の展開 - 植物ゲノムにおける転移因子由来非コードRNAの転写制御 - 新ダイナミック金属錯体による刺激応答性高分子 - 生物物理学的ネットワークにおける最適情報処理 - 先端キャップタンパク質に依存する細菌べん毛フック重合機構の解明 - 地球温暖化に適應するための海藻類の新品種開発手法の確立 - 着尺用材料の作出に向けた芭蕉布繊維の解像 - 中枢シナプスでのシナプス前・後細胞小器官運動のATP依存性カップリングとシナプスの可塑性と伝達への影響 - 低温電子顕微鏡を用いた歯周病原V型ウイルスの全体構造の解明 - 頭足類手足の規制の起源 - 軟骨肉腫に対する併用療法 - 脳神経系における新規の遺伝子発現制御機構とその破綻による障害・疾患 - 報酬待機行動を促進させるセロトニンを制御する脳内回路:光操作とCa画像化での検証 - 有機-無機複合体ハイブリッドペロブスカイト太陽電池とモジュールのアップスケールリング - 有棘細胞癌の新規癌幹細胞マーカーの探索 - 乱流テイラー・クエット流のスペクトル構造 - 量子回路のモジュール化と量子制御の数学的および実験的研究 - 膵β細胞でのグルコース応答性インスリン分泌における転写後調節の分子機構の解析 - 鶴鴿:ミクロの流れにおける弾力性と柔軟性フィラメント - ナイーブT細胞の多分化能を規定する新規分子機構の解析 - マイクロKまでの超低温における角度分解トンネル分光法の開発 - 細胞膜の損傷修復により誘起される細胞老化のWhole body解析 - 哺乳類と異なる戦略で優れた心機能を発揮する鳥類に学ぶ革新的心不全治療の創出 - 最先端遺伝学・光遺伝学技術を駆使した哺乳類細胞の等分裂制御原理の追究
挑戦的萌芽研究	- A biological image generator: cuttlefish camouflage and visual perception - Astrocytic NO drives presynaptic cascade for inducing ischemic longterm potentiation at hippocampal CA1 synapses - Biomonitoring of Red Soil Pollution by DNA-based methods in Okinawa - Bootstrapping Conformal Field Theories Without Positivity Constraints - CD8T細胞の分化におけるjunBの作用機序の解明 - Detection of quantum states of single electrons on liquid helium - Development of a dual-mode optical/microgravimetric biosensor for the detection of three prostate cancer biomarkers - Effects of a web-based Functional Behavioral Assessment (FBA) for challenging behaviors of children with neurodevelopment disabilities - Hierarchically Ordered Nanocomposites based on Block Copolymers and Nanodiamonds - How attention regulates auditory perception during song learning? - Manganese-catalyzed synthesis of fluorinated organic compounds and hydrogenation/dehydrogenation catalysis - Multidimensional risk diversification for conserving coastal wetlands under climate change uncertainty - PKAイメージングによるマウス体性感覚野皮質深部のカテコールアミン神経修飾の解明 - Purely Elastic Flow-induced Vibrations of Microcylinders : Viscoelastic Fluid-Structure Interaction in Microfluidics - Quantum dissipative dynamics in the Bose polaron problem and beyond - RNA-RNPのワンポット共進化による生体直交性ベアの創製と翻訳制御への応用 - RNAの重要性:社会的・個人的免疫における伝達性RNAの役割 - RNA反応性RNAウイルスベクターによる細胞挙動の制御
若手研究(A)	
若手研究	

	<ul style="list-style-type: none"> <li>- Self-Organized Multi-Level Working Memories Facilitate Predictive Coding Based Action Panning</li> <li>- Sustainable and efficient swine wastewater treatment with simultaneous removal of residual nitrates and nutrients recovery.</li> <li>- T細胞に着目した免疫応答モデルの構築: 自己免疫性疾患への展開</li> <li>- スロー振動の影響を受けた成人神経新生の機能と特性に関する総合的理論調査</li> <li>- ブロン流入を利用した細胞膜損傷応答</li> <li>- ポプテイルイカの高認知能力測定により頭足類の知能の進化を理解するための行動学およびゲノム的方法を利用する研究</li> <li>- マウス初期発生におけるdisallowed genesの解析</li> <li>- リボスイッチを用いた除去可能な新規遺伝子発現制御法による生殖細胞分化誘導</li> <li>- 安価で低毒性なマンガン触媒による高汎用性オレフィンメタセシス反応の開発</li> <li>- 海馬記憶痕跡による動的な活動パターンが示す文脈情報表象の解析</li> <li>- 光/熱誘起スピニングクロスオーバー錯体の軟X線平衡/非平衡ダイナミクス観測手法の開発</li> <li>- 高水温耐性のあるサンゴ群体がどのように生まれるのか?</li> <li>- 細菌の表面粗さが制御する海洋ナノサイズ粒子付着機構の解明</li> <li>- 在留外国人にとっての医療問題は医療者との熟議でどこまで解決可能か?</li> <li>- 新抗生物質を目指して: Shigella flexneriのIII型分泌系の活性化シグナルとシグナル伝達機構の解明</li> <li>- 体性感覚皮質の複数層にわたるベジアン推論の実験的および理論的調査</li> <li>- 特異な静電遮蔽効果が高分子化イオン液体の高分子ダイナミクスに与える影響の解明</li> <li>- 波紋秩序状態の起源解明および実物質での実現可能性-新たな磁気構造物質の創出-</li> <li>- 翻訳速度変化を介した新生タンパク質の折り畳み機構の解明とその応用</li> <li>- tRNA修飾ランドスケープが新規タンパク質機能の進化に与える影響</li> <li>- クシクラグにおける神経誘導bHLH転写因子の同定と機能解析</li> <li>- ゲノムを用いたミツバチヘギタダニの侵入経路と進化の過程の追跡</li> <li>- サンゴのポリプから群体までの創発特性の研究</li> <li>- ショットガンメタゲノミクスによるシロアリ腸内微生物群集の進化動態の解明</li> <li>- シロアリとその細胞内バクテリアの共生</li> <li>- ストレス応答反応における脳内Tobの機能解析</li> <li>- ナノ平行電子線回折を用いた非晶質材料の局所構造解析</li> <li>- ブルキンエ細胞の樹状突起における連合学習の時空間的符号化</li> <li>- マイクロ流路デバイス中の流れと空間の制御による超高速イムノセンシングの実現</li> <li>- マウスの尻尾を用いたバランス機能の解明</li> <li>- メタ群集の空間構造と個体の分散が与える生態的浮動と選択への影響の解析</li> <li>- ユビキタス海洋動物プランクトン、ワカレオタマゴの集団ゲノム科学</li> <li>- 一次元二成分分子ガスにおけるダイナミクス</li> <li>- 加齢性筋機能低下における翻訳速度変化を介した新規作用機序の探求</li> <li>- 極細光ファイバの近接場偏光解析</li> <li>- 光と物質の相互作用を利用した干渉計と量子相転移</li> <li>- 国際比較から抽出する研究支援人材のキャリアアプラン形成に資する能力評価指標</li> <li>- 細胞構造における機械的相互作用の役割</li> <li>- 在来と外来の沖縄アリ群集における時間変動のパターンとその原因</li> <li>- 三次元腫瘍モデルを用いた細胞と間質の相互作用および腫瘍の可塑性の解析</li> <li>- 自然環境下でのマングローブのゲノム・エピゲノム解析</li> <li>- 種間比較と構成的手法によるシロアリの構造物形成の進化プロセス解明</li> <li>- 人工的スピン軌道相互作用した少数系における非古典的性質の解析</li> <li>- 生態系アセスメント理論構築のための数理的研究</li> <li>- 祖先型ニューレキシンの構造・機能解析</li> <li>- 非天然型アミノ酸生産のためのPLP依存性アミノ基転移酵素の改変</li> <li>- 目的指向性行動におけるセロトニンの役割</li> <li>- アイドリング状態の脳における情報処理メカニズム</li> <li>- A biological image generator: cuttlefish camouflage and visual perception</li> <li>- らせん構造を有するナノグラフェンおよびグラフェンナノノレノイドの合成と物性評価</li> <li>- アフリカの二つの古代湖におけるシクリッド科魚類の摂食戦略の多様化と多種共存機構</li> <li>- Cyclotomic KLR algebras in type C: cellularity and blocks</li> <li>- Hamilton-Jacobi equations on metric measure spaces</li> <li>- Hydrodynamic couplings inside a biomimetic array of passive cilia-like structures.</li> <li>- Modulation of turbulence by droplet coalescence</li> <li>- The evolutionary origin of symbiotic mosaics in mealybugs</li> <li>- キンカチョウ歌学習における意志による音声情報動態の制御メカニズムの解明</li> <li>- 樹状突起計算を統合する新しい回路学習パラダイムの創出</li> <li>- 植物における遺伝子内ヘテロクロマチンの制御と機能</li> <li>- 人工知能と脳科学の融合研究の国際ネットワーク形成</li> <li>- 人工知能と脳科学の融合研究の推進</li> <li>- 先端バイオイメージング支援プラットフォーム</li> <li>- 多階層表現学習の数理基盤と神経機構の解明</li> <li>- 量子液晶の物性科学</li> <li>- 量子液晶の理論構築</li> <li>- 睥β細胞の恒常性維持に重要なオートファジーの転写後制御の解析</li> <li>- 植物の不均一環境変動への応答を支える多層的エピゲノム制御機構</li> <li>- 不均一環境変動に対する植物のレジリエンスを支える多層的情報統御の分子機構</li> <li>- 線糸体における行動の柔軟性の時空間神経化学ダイナミクス</li> <li>- 有糸分裂細胞皮質におけるダイニン調節ネットワークの分子機構の解析</li> <li>- モバイルシグナルを介した植物の生殖メカニズム</li> <li>- 自然画像を自由にみるときに特異的におこる視覚情報処理過程の抽出</li> <li>- 大学教職員のための職長教育テキスト</li> <li>- イムノアッセイ診断のためのスマート量子プラズモンセンサー</li> <li>- 量子トランスデューサーに向けたダイヤモンドを含んだ光共振器の開発</li> <li>- 新たなスギ花粉症減感作療法の実現可能性に関する研究</li> <li>- 新たなバイオテクノロジーを用いて得られた食品の安全性確保とリスクコミュニケーションのための研究</li> <li>- 自然視中の物体認識にかかる神経機構</li> <li>- 多相不均一反応が鍵となるタンパク質構造の起源</li> </ul>
特別研究員奨励費	
特別推進研究	
独立基盤形成支援	
国際共同研究加速基金(帰国発展)	
国際共同研究加速基金	
研究活動スタート支援	
新学術領域研究(研究領域提案型)	
学術変革領域研究	
HFSP研究 Grant	
内藤記念女性研究者研究助成金	
大学環境安全協議会プロジェクト	
住友財団基礎科学研究助成金	
宇流麻学術研究助成金	
厚生労働科学研究費補助金	
武田科学振興財団ライフサイエンス研究奨励	
アストロバイオロジーセンタープロジェクト	

## 18. 関連公益法人等に関する明細

FRIENDS OF OIST FOUNDATION, INC.

### (1) 設立の目的

- ① 沖縄科学技術大学院大学及び米国、日本及び海外の共同研究者が実施する研究及び教育の活動支援を通じて、世界の課題に取り組む科学技術を促進する。
- ② 米国での沖縄科学技術大学院大学及びその研究プログラムの認知度を高め、国際的に影響を与えることにより、日本発の科学技術による研究と教育のグローバル化を推進する。
- ③ イノベーション、起業家精神、世界のニーズに対応する科学技術の知識の活用を支援する環境を促進することで、沖縄の自立的な経済成長に寄与する。

### (2) 法人に対する役員の関係

当学園の理事の一人であるジェローム・フリードマン氏は、Friends of OIST財団法人の理事を兼務しております。

### (3) 役員氏名

- ① ジェローム・フリードマン 理事
- ② マクリン・幸子 理事

### (4) 基本財産の状況

法人の基本財産に対する出えん、抛出、寄附等及び法人の運営費、事業費等に充てるために沖縄科学技術大学院大学において負担した会費、負担金等はありません。

### (5) 法人に対する取引の状況

該当はありません。





